

防災計画書作成要領

大津市における大規模開発の事前協議書等に添付する「防災計画書」は、以下の内容について記載し算定根拠となる計算書等を添付して下さい。なお、作成にあたっては、「宅地防災マニュアルの解説Ⅰ、Ⅱ（編集 防災研究会）」を参考にして下さい。

1 事前調査

- 1) 気象は、年間降雨量、集中豪雨の実績、年間降雨パターン等の調査内容を記入して下さい。
- 2) 地形は、水系、集水面積、地すべり地形、崩壊跡地等の調査内容を記入して下さい。
- 3) 地質は、断層、崖すい、軟弱地盤、湧水、地下水、地層の傾斜等の調査内容を記入して下さい。
- 4) 周辺環境は、民家、井戸水、河川、道路等の調査内容を記入して下さい。

2 工程計画

工程計画は、工事量、工種及びその内容等を十分把握したうえ、梅雨末期の集中豪雨や秋の台風時期における降雨、冬の乾燥期における山火事の発生など、施工時期を考慮して災害発生防止について十分配慮した計画として下さい。

なお、工程計画書の工種の例としては、以下のものがあります。

「準備工」、「水路等改修」、「調整池等工事」、「暗渠排水・軟弱地盤処理」、「伐開・抜根」、「整地工事」、「進入路・主要道路等の路形築造」、「防災対策工」、「排水工事」、「街築・舗装」、「のり面等植栽工」、「仕上げ工事」

3 防災計画平面図

工事施工中の防災措置を示した防災計画平面図を作成して下さい。

4 工事施工中の濁水流出防止対策

工事施工中における土砂、濁水流出が周辺に影響を及ぼす恐れがある場合は、地形、土質、施工時期等を考慮した適切な防止施設を施すことを記入して下さい。

1) 湧水の影響度の測定・点検

必要に応じて、工事着手前にあらかじめ水質や濁度を測定しておくとともに、工事施工中においても汚濁水の影響度の測定・点検を行うこと等を記載して下さい。

なお、濁水が認められたときの早急な対策等についても記載して下さい。

2) 濁水流出防止施設

工事施工中の仮の防災調整池等や沈砂池などの濁水流出防止施設の設置について記入して下さい。

①工事施工中の仮の防災調整池等

工事施工中の排水を放流する開発事業区域周辺に、人家や重要施設等がある場合には仮の防災調整池等の種類・規格・構造等の決定根拠を記入して下さい。

なお、仮の防災調整池を設置する場合、以下の項目について詳しく記入して下さい。

「計画雨量」、「土砂の流出抑制対策」、「容量等」、「構造等」、「汚濁軽減措置」

②沈砂池

集水面積が極めて小さい場合に対応するのが一般的となるが、設置する場合は採用根拠等を記入して下さい。

なお、構造は原則として埋込式で堅固なもので、土砂の搬出のために底部まで自動

車の乗り入れが出来る構造として、この構造であることを記入して下さい。

3) 簡易な土砂流出防止工（流土止め工）

工事施工中の仮の防災調整池等の施設を設置するほどでもない場合、あるいは設置が不可能な場合に用いられるが、この施設を用いた理由等を記入して下さい。

なお、簡易な土砂流出防止工の例としては、以下のものがあります。

「板柵マット工」、「板柵割栗石工」、「板柵工」、「ふとんかご・のり尻保護工」、「板柵土のう積み工」、「ふとんかご工」、「土のう積み工」

4) 仮排水工

各種関係法規、設計基準を十分考えあわせ、工事前・中の各段階に対応した雨水等の排水・濁水処理対策について記入して下さい。

なお、仮排水工の基本的な設計項目については、以下のとおりであり該当項目についての対策内容を記入して下さい。

「工事施工中の排水」、「盛土工事」、「仮排水施設」、「切土工事」、「宅地内排水」、「路面排水」、「濁水による侵食洗掘防止」、「工事中の濁水対策」

5 工事施工中の騒音・振動対策

1) 騒音

騒音については、騒音規制法で8種類の作業（特定建設作業）が対象となり、各々の建設作業に伴って発生する騒音に対する規制基準が定められているので、騒音対策の基本的な考え方について記入して下さい。

なお、騒音対策の基本的な考え方の項目については、以下のとおりです。

「騒音の把握」、「施工機械での対策」、「中間騒音」

2) 振動

振動規制法では、特定建設作業として4種類の作業が定められているので、振動対策について記入して下さい。

3) 建設機械の騒音・振動対策

土工機械は、騒音・振動ともかなり大きいので、工事に当たり騒音・振動が問題となりそうな場合には、低減対策について記入して下さい。

なお、土工機械の選定については、以下の項目の内容について記入して下さい。

「低騒音型・低振動型機械の採用」、「エンジン出力」、「履带式と車輪式」

4) 水質汚濁、塵埃、交通問題

①水質汚濁

施工区域内に川が流れている場合で下流に対して汚濁による魚類や農作物に影響がでると考えられる場合は、濁水の処理方法について記入されたい。

なお、濁水の処理方法は大きく分けて以下の方式に分けられる。

「自然沈殿方式」、「凝集沈殿方式」、「機械処理方式」

②塵埃

塵埃については、地形、気候等に左右されることが多いが、砂塵が人家に影響を与えると考えられる場合は、衝立て等で遮断する方策等について記入されたい。

③交通問題

運搬路となる道路が狭かったり、生活に密着している道路であったりすると、生活環境に及ぼす影響が大きくなるので運搬路の選定経緯について記入して下さい。

6 防災体制の確立

防災体制を確立し必要な事項を記入して下さい。

1) ハード面

①必要な資材を必要な箇所に配置

必要な資材を必要な箇所に配置した工事施工中の防災施設配置図等を作成し添付

して下さい。

②必要な資材の点検・補給

必要な資材の点検・補給の方法等を記入して下さい。

③土質、地形の特性把握及び流域面積、勾配の変化に伴う排水対策と日常管理

土質、地形の特性把握及び流域面積、勾配の変化に伴う排水対策と日常管理について記入して下さい。

2) ソフト面

①組織の確立（点検体制、情報収集体制、出動体制、災害復旧体制、連絡体制等）

組織の確立し点検体制、情報収集体制、出動体制、災害復旧体制、連絡体制等について記入して下さい。

②防災責任の設置

防災責任の設置し防災責任者名を記入して下さい。

③市町が定める防災体制との連携

市町が定める防災体制との連携について記入して下さい。

④工事の経過報告

工事の経過報告が速やかに行える体制であることを記入して下さい。

7 その他工事実施に際しての留意事項

その他工事実施に際しての留意事項について記入して下さい。

（例えば、事前に必要となる許可及び承認等の関係法令など）

この要領は、平成20年10月1日から摘要する。